

科目名	手話 1						年度	2024	
英語科目名	Sign language 1						学期	前期	
学科・学年	柔道整復科 1年次	必/選	必	時間数	30	単位数	2	種別※	講義
担当教員	村越啓子	教員の実務経験		有	実務経験の職種		大学講師		
【科目の目的】 手話を通じてろう文化を学ぶことで柔道整復師として幅広く国民の健康福祉に寄与することを目的とする。									
【科目の概要】 日本手話実技とろう文化を学びます。									
【到達目標】 日本語とは異なる独自の体系をもつ言語である日本手話を理解し、探求する力を身につけるために、1つ目に手話のごく限られた要素とその組み合わせ方といったしくみである音韻構造を理解する。2つ目に文を作る時のしくみを知ることが重要であり、日本手話の文法を理解する。3つ目に聴者では適切な行動だと思われることが、聾文化において不適切だと思われる行動があることを理解することを到達目標とする。									
【授業の注意点】 日本手話では、学生間・教員と学生のコミュニケーションを重視する。キャリア形成の観点から、授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。授業に出席するだけでなく、聾文化への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める（詳しくは、最初の授業で説明）。ただし、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力				
到達目標 A	日本手話について正しく理解している。	日本手話について大體理解している	日本手話について部分的に理解している。	日本手話についての理解がやや不足している。	日本手話について理解していない。				
到達目標 B	ろう文化について正しく理解している。	ろう文化について大體理解している	ろう文化について部分的に理解している。	ろう文化についての理解がやや不足している。	ろう文化について理解していない。				
到達目標 C	手話で自分と家族のことを相手に正しく伝えることができる。	手話で自分と家族のことを相手に大體伝えることができる。	手話で自分と家族のことを相手に対して部分的に伝えることができる。	手話で自分と家族のことを相手に伝える知識がやや不足している。	手話で自分と家族のことを相手に伝えることができない。				
到達目標 D	手話で月日・曜日・日時について相手に正しく伝えることができる。	手話で月日・曜日・日時について相手に大體伝えることができる。	手話で月日・曜日・日時について相手に対して部分的に伝えることができる。	手話で月日・曜日・日時について相手に伝える知識がやや不足している。	手話で月日・曜日・日時について相手に伝えることができない。				
到達目標 E	手話で都道府県・市町村・学校名・交通機関などを正しく相手に伝えることができる。	手話で都道府県・市町村・学校名・交通機関などを相手に大體伝えることができる。	手話で都道府県・市町村・学校名・交通機関などを相手に対して部分的に伝えることができる。	手話で都道府県・市町村・学校名・交通機関などを相手に伝える知識がやや不足している。	手話で都道府県・市町村・学校名・交通機関などを相手に伝えることができない。				
【教科書】 教科書（はじめての手話—生活書院改訂新版—）に準拠する。									
【参考資料】									
【成績の評価方法・評価基準】 定期試験と課題、授業時間内に行われる発表方法・内容にて評価する。									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

科目名		手話1			年度	2024
英語表記		Sign language 1			学期	前期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標=修得するスキル	評価方法	自己評価
1	ガイダンス	日本手話を学ぶ前の予備的知識を知る。ろう文化の基本的なことを学ぶ。	1 日本手話とは	日本手話について理解する。	3	
			2 ろう文化とは	ろう文化について理解する。		
			3 手話を学ぶ意義	手話を学ぶ意義について理解する。		
2	自己紹介①	自分の名前や年齢を言えるようにする。	1 名前	自分の名前を表現できる。	3	
			2 年齢	自分の年齢を表現できる。		
			3 生年月日	自分の生年月日を表現できる。		
3	自己紹介②	自分の家族について話せるようにする。	1 家族構成	自分の家族構成を表現できる。	3	
			2 親	自分の親のことを表現できる。		
			3 兄弟	自分の兄弟のことを表現できる。		
4	自己紹介③	自分の出身地や現住所を言えるようにする。	1 出生地	自分の出生地を表現できる。	3	
			2 出身地	自分の出身地を表現できる。		
			3 現住所	自分の現住所を表現できる。		
5	自己紹介④	自分の将来と家族の仕事について話せるようにする。	1 将来	自分の将来について表現できる。	3	
			2 職業	自分の職業を表現できる。		
			3 家族の仕事	自分の家族の仕事について表現できる。		
6	自己紹介⑤	簡単な生い立ちを言えるようにする。	1 現在	現在の自分のことについて表現できる。	3	
			2 過去	過去の自分のことについて表現できる。		
			3 未来	未来の自分のことについて表現できる。		
7	自己紹介⑥	自己紹介を言えるようにする。	1 名前	自己紹介で自分の名前を相手に伝えることができる。	3	
			2 出身校	自己紹介で自分の出身校を相手に伝えることができる。		
			3 希望する仕事	自己紹介で自分の希望する仕事を相手に伝えることができる。		
8	振り返り	前期1回～7回の講義の振り返り。	1 自分の名前と年齢	自分の名前と年齢を相手に伝えることができる。	3	
			2 家族構成	自分の家族構成を相手に伝えることができる。		
			3 現住所	自分の現住所を相手に伝えることができる。		
9	タイムテーブル①	月日、曜日、隔週、毎週、定休日等の表出ができるようにする。	1 月日	月日を表現できる。	3	
			2 曜日	曜日を表現できる。		
			3 定休日	定休日を表現できる。		
10	タイムテーブル②	一日の過ごした方を言えるようにする。	1 時間	時刻をたずねたり、時間の長短を表現できる。	3	
			2 起床/就寝	何時に起きて、何時に寝るといった表現ができる。		
			3 外出/帰宅	何時に外出して、何時に帰宅したといった表現ができる。		
11	通学方法	自分の通学について話せるようにする。	1 交通手段	どうやって通っているかを表現できる。	3	
			2 交通経路	どういう経路で通っているかを表現できる。		
			3 学校までの距離	自宅から学校までの距離について表現できる。		
12	嗜好品	飲み物、食べ物、アルコールについて話せるようにする。	1 好きな飲み物	好きな飲み物について表現できる。	3	
			2 好きな食べ物	好きな食べ物について表現できる。		
			3 お酒について	お酒について表現できる。		
13	タイムテーブル③	嗜好品について言えるようにする。	1 肉や魚	肉や魚の好みについて表現できる。	3	
			2 野菜や果物	野菜や果物の好き嫌いについて表現できる。		
			3 酒や煙草	酒や煙草を嗜むか表現できる。		
14	振り返り	前期9回～13回の講義の振り返り。	1 日時について	日時を相手に伝えることができる。	3	
			2 通学について	通学の手段や経路について相手に伝えることができる。		
			3 嗜好品について	酒や煙草のことについて相手に伝えることができる。		
15	手話1のまとめ	前期手話1全体の振り返り。	1 日本手話とろう文化	日本手話とろう文化について理解する。	3	
			2 自己紹介	手話を用いて相手に自己紹介をすることが出来る。		
			3 タイムテーブル	前期に理解した内容を手話でお互いやり取りすることが出来る。		

評価方法：1. 小テスト、8. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等